

会場:美咲町中央運動公園多目的 広場

会期:2023/6/10~11

#### ▼準決勝

IPU 3-2 新見城山クラブ

6 回時間切れ

#### ▼決勝戦

環太平洋大学	0 0 0 0 0 0 4	4
平林金属	1 0 0 0 0 0 1	2

優勝

#### 戦評

ふるさと枠などで主力選手を欠き多くの 1.2 年生の若いメンバーで挑んだ国体予選。1 回戦では打線好調で毎回得点を奪い 9-1 で勝利。

準決勝では新見城山クラブと対戦。中京大などふるさと枠の選手を要した混成チームで長打力のある強豪チームでしたが、先発の景山が 11 三振を奪い 3-2 勝利し決勝にコマを進めました。

決勝戦は日本リーグの平林金属ソフトボールクラブと対戦。現役日本代表メンバーが多く在籍する日本トップクラスのチームです。

(※多くの IPU 卒業生が在籍)

平林金属の先発は現日本代表の小山投手、故障明けで本調子ではなかったものの最速は 125 キロ、要所を抑えられ 7 回までに 9 個の三振を奪われました。

試合は初回到 3 連打で 1 点を失いました。攻撃では 4 回に満塁のチャンスがありましたが無得点。0-1 のまま最終回まで試合は進み 7 回表に四死球などで 2 死満塁の最後のチャンス。IPU2 番の安藝大地(強化枠 A)が 1-1 からライズボールを振り抜き打球はレフトスタンドへ飛び込む、逆転満塁ホームランで 4-1 と逆転に成功しました。7 回裏、さすが平林金属。

長打と連打で 1 点を返され 4-2 と 1 点差。2 死 2.3 塁でこの試合 2 安打の 1 番浜本悌(日本代表・IPU 卒業生)を故意四球で歩かせて満塁作を選択して勝負しまし

た。最後は2ストライクからセカンドゴロに打ち取り、約10年ぶりに公式戦で平林金属から勝ち星を上げることが出来ました。

先発の景山は準決勝で108球、30分後の決勝戦では114球と1日で222球の力投で勝利に貢献しました。

主力選手を欠いた若いチームでしたが、良い経験を積むことが出来ました。

今後の西日本インカレや全日本インカレに活かして行けるように改めてチーム一丸精進します。

※尚、IPUが優勝しましたが今大会は選考大会でもあるため改めて岡山県協会の強化委員会で協議し代表メンバーを選出して8月の中国ブロック大会に挑みます。